

学びふれあい 心豊かに

生涯学習

公民館講座受講者募集

仙北市民を対象とした次の公民館講座の受講者を募集します。受講を希望される方は各講座の申込期間の平日9時から17時まで、申込・問合せ先の公民館の窓口または電話でお申し込みください。

※「韓国料理教室」のみ、受付時間は8時30分から17時までです。

健康志向でヘルシーお菓子

朝紫（古代米）を使ったおはぎ作り教室

近年、食生活や嗜好面など健康への関心が高まりをみせています。今回はヘルシー食材として人気がある朝紫（古代米）を使った「おはぎ」作りを学びます。食べて美味しい、作って楽しい教室です。お気軽にご参加ください。

●日時／①令和2年1月22日(水) ②1月23日(木) 9時30分～12時頃

※二日間とも同じ内容です。①または、②でお申し込みください。

●場所／旧石黒(恵)家

●講師／浅利久美子氏

●メニュー／朝紫（古代米）を使ったおはぎ、ほか一品

生涯学習課 ☎43-3383
田沢湖公民館 ☎43-1061
角館公民館 ☎54-1110
西木公民館 ☎47-3100

- 持ち物／エプロン、三角巾、筆記用具
- 受講料／500円（材料代）
- 定員／7人（定員になり次第締切）
- 申込開始／12月17日(水)
- 申込・問合せ／角館公民館

たのしく学ぶ

中国語講座

中国の文化や習慣、コミュニケーションについて、楽しみながら学んでみませんか。すべてに参加できないけど途中から参加してみたいという方でも大丈夫です。お申し込み、お待ちしております。

●日時／令和2年1月16日、23日、30日、2月6日、13日（毎週木曜日・全5回）18時15分～18時50分

●場所／角館公民館 研修室1

●講師／田村雄幸氏、ネイティブ講師（A L T）

●対象／小学生以上

●持ち物／筆記用具

●受講料／無料

●定員／20人（定員になり次第締切）

●申込期間／12月17日(水)～27日(金)

●申込・問合せ／角館公民館

家庭で作る本場の味

韓国料理教室

家庭でも手軽に作れる韓国料理教室を開催します。今回は、韓国海苔巻き（キンパ）と肉や野菜などの具材を乗せた韓国の混ぜご飯（ビビンバ）を作ります。お気軽にご参加ください。

●日時／令和2年1月15日(水) 10時～13時

●場所／田沢湖健康増進センター

●講師／朴敬姫（パクキョンヒ）氏

●メニュー／キンパ、ビビンバ

●持ち物／エプロン、三角巾、筆記用具

●受講料／800円（材料代）

●定員／10人（定員になり次第締切）

●申込期間／12月17日(水)～26日(木)

●受付時間は、8時30分から17時までです。

●申込・問合せ／田沢湖公民館



※写真はビビンバ(上)とキンパ(下)のイメージです。

丈夫で簡単

エコクラフト教室

様々な色合いの紙ひもを編み込んで作るエコクラフトは、バッグや小物入れなど実用的なものが多く、また簡単に作れることから広い世代から大変人気があります。興味をお持ちの方は、この教室で自分専用、または贈り物としてオリジナルの作品を作ってみましょう。

●日時／令和2年1月8日、22日、2月12日、26日、3月11日、25日（毎週水曜日・全6回）13時30分～15時30分

●場所／西木公民館

●講師／荒木和子氏

●持ち物／ハサミ、メジャー

●受講料／1500円程度（材料代）

●定員／15人（定員になり次第締切）

●申込期間／12月18日(木)～令和2年1月6日(月)

●申込・問合せ／西木公民館



自分だけのオリジナルバッグを作ってみませんか。

またたうら

心豊かな教育文化のまち 《仙北市教育委員会だより》

第98号

白岩小学校 認知症サポーター養成講座

11月19日、白岩小学校6年生を対象に「認知症サポーター養成講座」が開かれました。これは仙北市包括支援センターが平成28年度から仙北市内小・中学校で行っています。講座のテーマは「認知症ってなんだろっ?」「どう接したらいいんだろっ?」の二つです。分かりやすい説明と楽しい寸劇で、あっという間に45分が過ぎました。その講座を受けたの感想を紹介します。

《菊地玲衣さん》

物忘れと認知症との違いを今日初めて知った。自分も祖父母と一緒にいるので、たまに頭の運動をしたりして、もしも認知症になったらまったら優しく笑顔で接したい。

《草薙徹平さん》

劇を観て、優しく接すればお年寄りも笑顔で接してくれて仲良く過ごせることが分かった。認知症は誰でも起こると分かったので、もし家族がなったら、笑顔で接し、みんなで仲良く過ごしたいと思う。



お礼の言葉も立派でした。「笑顔忘れず優しく接します」

《草薙徹平さん》

お年寄りというが、いずれは自分たちもなる。だから今日学んだことを生かしたい。自分の祖父母は年を取っているのでも、もしも認知症になったら今日習ったように優しい言葉と笑顔で接したい。地域の人にも家族にも、これまで優しく接してもらってきたから、優しく接したい。

認知症になっても生きやすい社会作りの大切さを学んだ有意義な授業でした。

情報学習支援員

学校を支える大きな力2

先月は、図書館支援員の活躍をお知らせしましたが、今月は情報学習支援員について紹介します。

情報学習支援員とは、仙北市教育委員会から派遣されており、子どもたちの情報教育に関する支援をしています。市内12校を1人の支援員が回っています。

その業務は、多岐に渡ります。授業に必要なデジタル教材を準備したり、調べ学習に必要なホームページをリストアップしたりしています。そんな支援員さんの作業により

学校での情報教育が充実しています。

また、各校のホームページを更新するのも大きな仕事の一つです。見やすく分かりやすいホームページ、知りたい情報にすぐにたどり着けるようなホームページを目指して工夫をしながら制作をしています。

さらに、学習発表会では大判の垂れ幕を制作したり、学校環境を整えるために学校行事の写真掲示物を作ったりしています。

そんな大活躍の情報学習支

援員さんが一番気を配っているのが個人情報保護です。個人情報保護を漏らさないようホームページでは、名前をイニシャルにしたり、写真の一部をぼかしたりするなど細心の注意を払っています。情報学習支援員さんが制作した各校の特色豊かなホームページをぜひご覧ください。



子どもと接することは少ないのですが、子どもたちのために頑張っています。

生保内小学校

北風なんかに負けないぞ！

一昨日の雪がまだ残る11月22日の昼休み。生保内小学校の裏庭には元気がつらつ、5年生の男子たちが雪合戦をしていました。ルールはいたってシンプルに、当たれば負け。それぞ

れของทีมには「大将」がいて、大将だけは2回当てなければ勝ちにならない。

天気がよければ寒いのはなかはへっちゃらと、昼休みは

毎日のように外へ駆けだしていきます。5年生は給食の片付けが速いので、歯磨きをしたらダッシュで外へ出るのだと居合わせた面々が口々に教えてくれました。

千葉疾風さんは「ワクワクする。みんなと遊ぶ気持ちがあが押さえられない」と話してくれました。また、千葉大我さんは、「当てられてもチームで勝つと思ってる」と



足下の雪をすくって、エイ！

ところが「おもしろい」と笑顔で教えてくれました。